

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	鼓ヶ浦つばさ園		
○保護者評価実施期間	令和6年10月15日		～ 令和6年11月29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	101	(回答者数) 87
○従業者評価実施期間	令和6年11月15日		～ 令和6年11月29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 16
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月29日 ※第三者による外部評価を導入し作成		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの発達状態に応じた活動や専門的支援体制との連携ができています、	個別のニーズに合わせた活動を行い、A D L面、感覚運動面、創作的活動、集団活動を、日々のプログラムに取り入れていいます。	・個別支援を一人ひとりに応じた内容を充実させ、定期的に保護者に分かりやすくフィードバックできるようにします。 ・こどもが利用している他機関との情報共有や就学先への引き継ぎ等を丁寧に行います。
2	保護者支援として、親の会役員を中心に保護者勉強会を開催しています。また、運動会や親子イベントを通して、日頃の様子を見てもらったり、家族間の交流の機会を設けています。	臨床心理士の配置による個別相談や職員への心理的フォロー体制づくりに取り組んでいます。	・専門的支援(臨床心理士・リハビリテーション)と緊密に連携がとれるよう支援体制の強化を図ります。 ・家族への相談援助等を定期的に行い、保護者への家族支援(相談支援)を行います。また、それ以外でも、気になることがあれば、いつでも相談できるよう声掛けを行います。
3	個々に応じた支援体制を構築しています。	担任及び担当職員を中心に、クラス職員が関わりを持ち、支援に携わっています。 日々の活動の様子を連絡帳や画像・動画で見てもらえるように記録しています。	・個別の評価を定期的に行い、支援に活かしていきます。 ・個人情報取り扱いには十分注意を払いながら、必要に応じて、外部機関や相談支援と連携を図ります。
4	構造化の要素(時間・空間・活動・人)を取り入れています。	絵カードやスケジュールなどを使った視覚支援やバーテーションで空間を分けるなど、分かりやすい工夫をしています。	・よりスムーズに活動が行えるよう、部屋の工夫等、改善に向けて取り組みます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	更なる療育活動内容のバリエーションや個別支援内容の充実が必要です。	利用者の障害特性を考慮した上での活動に捉われ、固定化しています。	・必要に応じて、支援内容の工夫や専門職(PT・OT・ST)からの助言を受ける機会の確保に努めます。 ・これまで同様に研修会への参加や事業所内での研修を実施します。 ・他の事業所との交流や意見交換を行いながら、支援内容の充実を図ります。
2	地域交流の機会や保護者同士の交流の場が少なく、開催方法の検討が必要です。	時間帯や年齢的な難しさなどの問題があります。 親子参加型イベントのため、人数制限やきょうだい児の参加ができない状況です。(安全対策、感染症対策)	・情報収集や法人での取り組み、事業を活用した取り組みができないか検討を行います。
3	職員が経験年数の違いによる活動内容や保護者対応などに負担感を感じています。	職員の異動や退職などにより、職員体制の変化が要因と考えます。	・経験のある職員からのアドバイスやフォロー体制の充実を図るとともに、職場内で何でも言える雰囲気作りや職員同士のコミュニケーションの活性化に努めます。 ・クラス間の職員の交流や話し合いの場の確保に努めます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	鼓ヶ浦つばさ園 (児童発達支援・放課後等デイサービス)
------	-----------------------------

公表日 令和7年2月20日

利用児童数 : 86 (保護者数 : 85)

回収数 79

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	62	14	2	1	<ul style="list-style-type: none"> 十分なスペースに適切な人数だと思う。 ちよっと狭いように感じる。 以前より活動的になり狭く感じることもある。 施設内に入る機会が少なく、判断が難しい。 	<p>活動内容によっては、部屋を分散する等、こどもが安全に安心して過ごすことができるよう工夫してまいります。</p> <p>また、こどもたちが安心して園生活を送ることができるよう、適正な職員数の確保に努めます。</p>
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	71	3		5	<ul style="list-style-type: none"> 先生の人数が多く安心しています。 安心してお願いできる。適切です。 置いてけぼりの子がいないよう、常に十分配置されている。 いろいろな先生がこどもを助けてくれるので満足です。 施設内に入る機会が少なく、判断が難しい。 最近参観がないので何とも言えない。 運営中の様子を見たことがない。 	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	73	3		3	<ul style="list-style-type: none"> 構造がこどもにも分かりやすい。 視覚支援の工夫だったり、個々で集中できる環境づくりがされている。 絵カードがたくさんあり分かりやすくなっている。 施設内に入る機会が少なく、判断が難しい。 写真でしか見ていないので分からない。 	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	75	3	1		<ul style="list-style-type: none"> いつもきれいです。 いつも清潔感を感じます。 少しせまく感じる。 	
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	74	4		1	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの特性に合わせて支援して下さり感謝しています。 職員一人ひとりが専門性のある支援をしてくださる。 どの子にも同じような支援をしているよう。 	一人ひとりの特性に応じた専門性のある支援を提供できるよう、職員の資質向上に努めてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	70	4		5	<ul style="list-style-type: none"> できることが増えてうれしい。 目標に対して長期と短期でできることや支援内容もしっかりついてきている。合っている。 きちんとプログラムを把握できておりません。 	支援プログラムについては、重要事項説明書や個別支援計画等の説明時に併せて説明するなど、丁寧な説明に努めてまいります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	75	2		2	<ul style="list-style-type: none"> 年齢に合わせた課題と親の意向も組み込んで作ってくださっている。 定期的に支援計画が更新されている。 こどもをよく見て考えている。 今の年少での計画が内容もしっかりと組み込まれている。こちらのニーズをよく理解してくださっている。 いつも内容に変化がないように感じます。 	今後とも、分かりやすい個別支援計画の作成と丁寧な説明に努めてまいります。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	73	4		2		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	70	5		4	<ul style="list-style-type: none"> 時期をみてしっかり支援して下さるので、成長、成果がよく分かる。 見えないところなので判断が難しい。 	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	73	4		2	<ul style="list-style-type: none"> 家ではできない様々な遊びをしている。 固定化されている部分もあると思う。 	こどもが楽しめる季節行事や園外活動を積極的に取り入れてまいります。

	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	33	5	15	26	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園へも登園しているので、他のこどもさんと遊んだりしています。 ・他の園にも通っているので交流がありますが、園としては不明です。 ・他の施設との交流は把握していない。 ・そのような機会はなかったですが、必要ないと思います。 	コロナ禍以降実施できていませんが、感染症対策を考慮した上で、保育所等との交流を再開したいと考えています。	
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	77	2				今後とも丁寧な説明に努めてまいります。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	79				<ul style="list-style-type: none"> ・いつも細かく説明していただいております。 ・いつも丁寧に説明して下さる。 		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	71	6			2	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会はとて面白い機会となっています。 ・勉強会等役に立つ情報の提供がある。 ・卒園児の保護者のお話はとても参考になりました。 ・園でされている視覚支援を家でやりたいので勉強会などあるとうれしい。 	毎月、ペアレントメンター相談会を実施し、希望される保護者向けペアレントプログラムを行っています。多くの保護者の方に参加していただけるよう、広く周知を図ってまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	75	3	1			<ul style="list-style-type: none"> ・園内での様子を口頭や連絡帳で教えていただいています。 ・よく聞き取りをされていると思う。 ・健康状態について、理解されていないこともあった。 	連絡帳や送迎時の情報交換、面談等により、園やご家庭での状況の把握と課題の共有に努めてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	77	2				<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に行われる面談にすごく助かっている。連絡帳にも書きやすく、伝えやすい環境を作ってくださっている。 	定期的な個別面談の実施や保護者からの相談にいつでも対応できる環境づくりに努めます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	73	6				<ul style="list-style-type: none"> ・いつも共感してくださった上で、助言や支援をして下さる。 	保護者に寄り添った対応を心掛け、支援してまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	28	16	12		23	<ul style="list-style-type: none"> ・親子イベントを通しての交流もとても良かった。 ・感染症やその他の理由でなかなか難しいのかなと思います。 ・きょうだい向けのイベントはまだ経験したことがないので分かりません。機会があれば楽しみにしています。 ・きょうだいの参加できるイベントは今のところ無い。 ・きょうだいの支援はない気がする。 ・きょうだい児と一緒に参加できるような交流の場があるといいなと思います。 	親の会役員を中心に行事への参画や保護者勉強会の計画等、連携して行っています。保護者同士の連携が支援できるよう、内容を工夫ながら取り組んでまいります。きょうだいへの支援については、ペアレントメンター相談会でテーマを取り上げていますので、ご興味のある方はご参加ください。今後、この事業を活用した取り組みを検討しています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	70	5	2		2	<ul style="list-style-type: none"> ・すぐ相談のつももらっています。 	意見、ご相談を受けた際は保護者の心情に寄り添い解決に向け対応しています。また、個別面談や連絡帳、日々の申し送り等を大切に、ご家庭との情報共有を図っています。今後とも、相談しやすい環境の整備と迅速な対応に努めてまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	73	4	1		1	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳や面談、定期通信で、情報はしっかり伝達できている。 	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	66	5	2		6	<ul style="list-style-type: none"> ・便りに誕生日会の予定が忘れられ、当日連絡帳に書くまで気づかれず残念だった。 	情報を発信する際には間違いが無いよう、十分確認し、情報提供を行います。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	72	3	1		3	<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画について他の児童さんとの取違えがあった。特にセンシティブな部分になるので気を付けていただきたい。 	確認不足により書類の取り違いがありましたことを心よりお詫び申し上げます。今後このようなことがないよう、取り扱いには十分注意いたします。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	71	2	1		5	<ul style="list-style-type: none"> ・事故防止マニュアルは知らない。 ・周知まではされていないように思う。 	各種マニュアルについての説明を徹底いたします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	75	1			3	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な訓練はしっかり行われており、災害に備えて避難所等の説明も書面で分かりやすい。 	毎月のクラスだよりでお知らせしていますので、ご確認ください。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	74	1	1		3		保護者への周知を徹底いたします。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	67	2	1		9	<ul style="list-style-type: none"> ・すぐ伝えてもらっています。 ・看護師が側にいる安心感が大きく、何かあった時も丁寧に説明して下さる。 ・経験がない。 	事故等が発生した際には、速やかに保護者の方へ連絡し、説明をさせていただきます。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	77				2	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもも親も安心して通っています。 ・先生とお友達がいる場所というのを分かってきたようです。 ・ときどき不安な様子がある。 	これからも安心して通園していただけるよう、こどもの心身に寄り添い、支援してまいります。

満足度	28	ごどもは通所を楽しみにしていますか。	73	2	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回楽しみにしています。先生大好きと言っています。 ・ニコニコしています。 ・ことばがまだ充分でないため分からない部分もありますが、行き渋りなく通園できている。 ・行きたがらないことがある。 	毎日のお子様の様子は、その都度保護者の方にお伝えし、ご家庭と情報共有しながら、一人ひとりの特性に配慮した支援に努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	77	2			<ul style="list-style-type: none"> ・手厚く支援していただき、いつも感謝しています。 ・皆さんとてもごどもに優しく、不満のある方が一人もいらっしゃいません。 ・大変満足しています。通所で良かったと心から思います。 	

(別紙5)

公表 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	鼓ヶ浦つばさ園 (保育所等訪問支援)
------	--------------------

公表日 令和7年2月20日

利用児童数 : 17 (保護者数 : 16)

回収数 8

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	7			1		保育所等訪問支援の際に使用する教具教材の充実を図り、適切な支援に努めてまいります。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	8					
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	8					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	8					
適切な 支援の 提供	5 ごどもの状態に応じた支援が提供できる職員(職種や人数)体制だと思いますか。	8					
	6 ごどものことを十分に理解し、ごどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8					
	7 ごどものことを十分に理解し、ごどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	8					
	8 保育所等訪問支援計画(個別支援計画)には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	7			1		今後とも、分かりやすい個別支援計画の作成と丁寧な説明に努めてまいります。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8					
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8					
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	7			1	担任の先生はよくしてくれるし、前任の先生もよく分かってくれているが、時折、一部の先生に不信に思う所もある。	訪問先施設の職員に対しごどもの発達段階や特性をふまえた関わりが行われるよう助言を行っています。
12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8						
13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8						
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	7			1	研修会があるのですか。	毎月、ペアレントメンター相談会を実施し、希望される保護者向けにペアレントプログラムを行っています。多くの保護者の方に参加いただけるよう、広く周知を図ってまいります。	
15 必要なときにごどもの状況を保護者と伝え合い、ごどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	8						

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8					
	18	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8					
	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8					
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	8					
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	8					
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	8					
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4		4	こちらがHPなど情報収集をしていないのでよくわかりません。	つばき園の活動内容等については、HP等を活用し情報発信に努めてまいります。自己評価結果は、園内掲示板とHPIに掲載しています。	
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	7		1		緊急時には、訪問先施設の職員と連携して速やかに対応ができるよう、事前に確認を行うなど情報共有に努めます。	
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7		1		常に子どもたちの安全・安心を心がけ、支援してまいります。	
	27	子どもは訪問支援を嫌がりませんか。	8					
	28	事業所の支援に満足していますか。	8					

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	鼓ヶ浦つばさ園		公表日	令和7年2月20日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		受入人数や活動内容によっては、グループ分けをして活動を分散するなど、危険のないよう工夫しながら療育を行っています。	国の基準は確保していますが、年々利用希望者が増加しており、障害の特性に応じた適切なスペースの確保に努める必要があります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準以上の職員を配置していますが、職員の出勤状況やこどもの状態等に対応するため、クラス間で調整を行っています。	多様な障害の特性に応じた支援を提供するためには基準以上の職員配置を考慮する必要があります。今後とも職員の確保に努めます。また、利用人数に応じて活動内容を配慮する等、工夫しながら支援を行ってまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		施設内はバリアフリー化されています。こどもにもわかりやすい特性を考慮した構造化がされており、用途に応じた使用が可能です。	今後とも、こどもが安全に安心して過ごすことができるよう適切なスペースの確保に努めます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		生活空間は、クラスの状況に応じた工夫を行っています。毎日の清掃・消毒を徹底し、感染対策はマニュアルに従って行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		こどもの状態や体調に応じて使用できる部屋を確保しています。クラス間で連携を図りながら、過ごしやすい環境を提供しています。	
6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		職員面談(パート職員を含む)を定期的に行い、個々の職員の目標管理と業務改善に向けた取組みを進めています。		
7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者からの評価結果は掲示板やHPで公表しています。いただいたご意見は、職員全員で共有し、業務改善に反映しています。		
業務改善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員面談や職場満足度調査等、職員の意見を把握する機会を設けており、その内容は職員全員で共有し、職場改善に反映しています。	いただいたご意見を業務改善に反映してまいります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		今年度より、自己評価を行う際にも第三者の同席を求め、第三者が参画する形で自己評価を行い、業務改善に反映します。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人内や外部の階層別・専門別研修に計画的に参加しています。また、参加した職員の伝達研修を実施し全職員で共有しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○	令和7年2月に公表予定です。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		年1回以上のアセスメントシート作成を行い、保護者のニーズや課題を分析、目標設定を行った上で、計画を作成しています。	計画を作成する職員だけでなく、こどもに対するアセスメントや保護者の意向への対応について、職員全体で考えてまいります。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		計画案を作成後、こどもの支援に関わる職員が共通理解のもと担当者会議を行い、検討を行った上で計画を実施しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員間で共有した計画をもとに、個々の療育目標を設定し、達成に向け支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		遠城寺式発達検査や、発達障害児については標準評価キットを導入し、結果を児童発達支援計画に反映しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		アセスメントの段階で、保護者のニーズや課題を聴き取り、また、相談支援事業所からの情報提供等により、こどもの発達段階や現状を踏まえ、より具体的に分かりやすい児童発達支援計画を作成しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		毎月のカリキュラムは、クラス会議等で協議した上で、決定します。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		こどもが楽しめるような季節行事、園外活動などを積極的に取り入れています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		クラス別、グループ、個別プログラム等を、こども一人ひとりに応じた支援方法で行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前には、職員間で当日利用するこどもの活動内容及び個別課題の情報共有を図っています。	勤務時間が異なるパート職員に対して情報共有を図る時間の確保が必要です。伝達方法を工夫し、必ず確認するよう努めます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日の連絡会でこどもの状況を情報共有し、支援方法について変更があれば、その都度共通理解を図っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		連絡帳や業務日誌を活用し、その日の支援内容や気づき、保護者とのやり取りを記録します。職員間で検証し支援の改善に繋がります。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6か月毎のモニタリング、定期的な個人面談を実施しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		モニタリング時期には、保護者、担当者、クラス職員、児童発達支援管理責任者及び相談支援専門員と担当者会議を開催しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて、医療、教育、母子保健、及び福祉の各機関が連携し、情報共有できる体制を構築しています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園等)の間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者の了解を得た上で、利用先との情報共有のための相互訪問や、詳細な情報交換を行っています。就園後のフォローも継続して行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		情報共有のための相互訪問や、詳細な情報交換を行っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○		周南圏域の発達障害児地域支援体制強化事業を受託し、地域の支援者や関係機関等の支援力向上のための研修会等を実施しています。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		山口県発達障害者支援センター専門相談員によるコンサルテーションを年3回受けています。外部研修も計画に基づき行っています。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		周南市地域自立支援協議会教育部会に所属し、地域における課題等の協議を行っています。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			コロナ禍以降実施できていませんが、感染症対策を考慮した上で、保育所等との交流を再開したいと考えています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳や送迎時の情報交換に加え、定期的に保護者面談を行っています。また、必要に応じて個別に話をする時間を設定しています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者勉強会を年3回、ペアレントメンター相談会を月1回実施しています。	多くの保護者の方に参加していただけるよう、広く周知を図りながら、積極的に参加を促してまいります。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○				
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○				
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		モニタリング以外にも定期的に保護者面談を行っています。また、必要に応じて個別に話をする時間を設定しています。		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		親の会役員を中心に、年3回の保護者勉強会を実施しています。また、親子イベントを企画し、保護者間交流の機会を設けています。	きょうだいへの支援については、ペアレントメンター相談会でテーマを設けています。今後、この事業を活用した研修会やイベントを企画していきたいと考えています。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談しやすい環境整備に努め、相談内容によっては関係機関との迅速な連携を図っています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		年間予定表、毎月のクラスだよりを発行しています。また、急な連絡事項の伝達や給食だよりなどはICTを活用し発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		関係法令を遵守し適正に管理しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		絵カードやスケジュールボード等を使ったコミュニケーション支援、難聴児への専門職員による支援等を行っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		コロナ禍以降、地域の方との交流は自粛していますが、感染対策をした上で、地域の学生実習や他機関からの見学を受入れています。	以前行っていた絵本の読み聞かせ会や演奏会、人形劇などを再開していく予定です。地域の学生ボランティアの受入れ等、積極的に行っていきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		月1回、災害(火災、土砂災害、地震)を想定した避難訓練を実施しています。また、年1回、保護者への引渡し訓練を行っています。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		策定した計画に基づき、定期的な避難訓練や職員向けの研修会に参加しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		入園時の情報をもとに、個別対応マニュアルを作成しています。また、看護師と連携し定期的な見直しを行っています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		該当の園児が通園する場合は、医師の指示書により対応しています。給食部門と連携し、アレルギー食の提供を行っています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画は定期的に見直しを行い、必要に応じて変更を行います。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画に基づく訓練等、毎月発行するおたよりやSNS等を活用し、保護者への周知を図っています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		毎日の連絡会で、当日起こったヒヤリハットについて報告し、再発防止の対策も含め、職員間で情報共有しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法人全体で、定期的な研修会や全職員を対象したセルフチェックを実施し、検証・評価を行っています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束に該当するか否かを含め、保護者に説明し、内容は個別支援計画に記載しています。		

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				
鼓ヶ浦つばさ園 <td colspan="5">令和7年2月20日 </td>		令和7年2月20日				
事業所名		利用児童数			回収数	
鼓ヶ浦つばさ園		17			12	
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	12			<ul style="list-style-type: none"> ・その子に合った適切な教具や支援の仕方を示して頂き大変勉強になっています。 ・具体的に説明して下さり、すぐ取り入れる事ができ、園の環境を整えていく事ができた。 ・運動会の練習の進め方や迷わず動けるよう助言をいただきました。 	集団生活を送るうえでこどもの育ちや発達ニーズに合わせた適切な支援を取り入れ安心・安全に過ごすことができるよう努めてまいります。	
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	12			<ul style="list-style-type: none"> ・支援カードを作製していただきありがとうございます。 ・適切なアドバイスや気づかなかった視点を教えて頂き、毎回「なるほど」と、こどもの見方も変わってきています。 ・知識・技術共に豊富で、すぐに対応方法を教えてくださった。 ・園で使用する物でも積極的に作って下さりとても助かっています。 	今後もこどもの特性に合わせた専門的な支援の提案、提供ができるよう努めてまいります。	
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	11	1		<ul style="list-style-type: none"> ・困り事をしっかり聞いてもらい助かっています。 ・毎回、支援員の訪問を心待ちにしています。現在の状況を的確に把握し、対応の仕方を教えて頂き助けられています。 ・一つひとつ丁寧に回答して下さい、とても理解ができました。 ・こちらの質問も、いつも分かりやすく丁寧に教えて下さいます。 ・保育園という集団の中でのこどもの姿から発達や障害の特性についての理解を共有し合い、同じ視点で課題に取り組むことができればより良い支援になると思う。 	訪問事業を通して教育効果を最大限に引き出すことができるよう支援の向上に努めてまいります。また、各関係機関と連携を図り、支援方法の共有ができる環境を整えてまいります。	
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	9	3		<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの様子に合わせてゆっくり見守っているため、大きな進展はない。 ・訪問支援員に来て頂くことで「こんな時どうすれば」「この症状が出ているのはどのような原因があるのか」という疑問に答えて頂けるのでとても有難いです。 ・とても解消され、保育者の質も上がったと感じる事ができる。 ・こちらが気づかないことなど適切に助言を頂いています。 	一人ひとりのこどもの特性等に応じた環境調整や活動への参加方法の工夫を行い、訪問先の先生方と情報共有しながらこどもの成長に繋がる支援を行っています。	
5 事業所からの支援に満足していますか。	12			<ul style="list-style-type: none"> ・沢山の意見交換が出来るので満足です。 ・専門の先生に來園して頂き、こどもの様子を見ながら支援方法を学ぶ事ができ、とても満足している。 ・大変満足しています。 	今後も地域生活、集団生活がこどもの成長の場となるよう、保育所等訪問を通して専門的支援の提供を行っています。	
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
<ul style="list-style-type: none"> ・つばさ園での生活や活動の様子など参観ができる機会があったらいいなと思います。 ・いつも丁寧なアドバイスありがとうございます。 ・定期的に様子を見に来ていただき、保護者との間を上手に繋いでくださりありがたいです。 ・保護者が事業所の支援を希望されているので、保護者の精神的安定にはつながっていると思う。学校としてはこれからもしっかりと保護者と連携し、よりよい支援方法を考えていきたい。 ・当該児童のご家庭の様子など、学校側が知らない情報も踏まえて支援のあり方をご助言いただき、大変助かっています。 ・保護者と学校をつなぐ一つのツールとしてとても有効だったと感じています。過去の経緯や事 				保育所等訪問支援は、こどもの発達全般や障害の特性・行動の特性を理解し、こどもの育ちの充実を図ることを目的に行っています。保護者や各支援者が、互いにこどもの成長を喜び合えるような信頼関係を築きながら、支援者としてこどもの育ちを支えてまいります。また、当園では、周南園域の支援者等を対象とした公開療育を開催しています。発達障害児への支援について理解が深まる機会となるよう当園における療育プログラム等を紹介していますので、是非ご参加ください。		

象を具体的に聞くことができ、保護者の支援に活かすことができました。情報共有を今後ともお願いします。

・支援するためのツールを用意してくれたり、保育中の困り事をしっかりときいてくださりありがとうございました。意見交換をすることでこちらも新しい考えが浮かび、上手くいかないこともありますが、色々と試してみようと前向きになれます。

・適切なアドバイスだけでなく、視覚支援カードやその他の補助具なども用意していただき、有難く思うとともに、大変勉強になっています。アドバイス頂いたことは「早速やってみよう」と思うことや「なるほど、そういうことだったのか」と気づかされることばかりで、支援にあたっている職員にも経験を積む良い機会になっています。

・訪問の度に、実際の保育に取り入れやすい形でアドバイスをしてくださるので本当に有難く思っています。保護者にとっても、園での様子も見て頂けることが安心感につながっているようです。

・保育の中で支援をする側が悩みを多く持っていました。支援を受ける子どもが一番困っている様々な行動に移している事を知り、保育者が、子どもが困っているからどのように対応すれば良いかと考えるようになりました。訪問支援員から、支援を具体的に知り、支援する環境を学び、支援の大切さを学ぶ事ができました。子どもの笑顔が増えるように、これからも勉強をしていきたいと思えます。

・月1回の訪問支援のおかげで子どもの成長に大きくつながっています。

・この事業を進めていくにあたって、保護者ニーズ、子ども本人のニーズを明確にし、共通理解を図って進めていくべきであったと反省する。どういう経緯で保護者が取り入れられたのかわからず戸惑った。保育園、家庭、つばさ園の3者が支援の目標を共有していくためにも話し合いは大切であると思う。